



福岡支部会後の忘年会にて
平成 29 年 12 月 12 日 (火) 八仙閣

新連載企画 支部訪問インタビュー

教えて支部長さん

組合の方針や業界の最新動向を、組合員の社員の皆さまにも広くお伝えして、いかにして支部の活性化と結束を図っていくか。各県支部長に、支部の現状と今後のお考えをリレー方式でお伺いしていきます。シリーズ第一回は、当組合の忍田理事長が支部長を兼任されている、福岡支部を訪ねました。

事務局 福岡支部は組合員 18 社、賛助会員さま 56 社が所属する最大の支部です。また、忍田理事長が支部長を兼任されていることもあり、事業は活発に行われていますね。

忍田 そうですね。福岡支部は飲み会ばかりやっつるじゃないかなんて言われてるけど、福岡単組の時代から、月一回の支部会は継続して開催してますよ。一緒になって遊ぶ時は遊ぶ。言いたいことがあれば本気で言い合う。それができるのは、普段から顔を合わせているからだと思います。

事務局 本気で言い合い。激しそうですね。



忍田 勉 九州電設資材卸業協同組合理事長兼福岡支部長

忍田 そりゃそうですよ。みんな真剣だし、組合員の権利は平等なもの。上も下もない。

今はコンプライアンスの関係上、価格の話なんてできないけどね。私が実務者の頃は会議で結構泥臭い話もしたりしました。みんな若かったし。それでも尾を引かないのが九州人のいいところですよ。

事務局 その頃のお写真を発見しました。本当に皆さまお若いです。

忍田 その頃は親父が理事長でね。実務者は飲み会で予算使いすぎだ！ってそりゃあよく怒られました。『実務者拡大会議』なんて名目立てて、韓国旅行を企てたら呼び出されてね。あの時はみんなまとめてこっぴどくやられましたよ。

事務局 今となってはいい思い出ですね。その結束力は、今の実務者会にも引き継がれているようです。

忍田 そうですね。これほどモノの売り方が変わってくると、これまでどおりの商売をしていてもダメ。各社工夫をしているとは思うけど、一社単位ではできることも限られてくる。組合の存在意義が問われるなか、若い人が中心となって知恵を集め、業界としてできることを考えてもらいたいです。

事務局 技術・情報・人材等、個々では不足する経営資源の相互補完を図る。まさに協同組合の基本理念ですね。

忍田 教育事業としては、個々のスキルアップを図ってもらうため、年に二回、参加費無料で研修会（技術研修会と経営研修会）を開催しています。

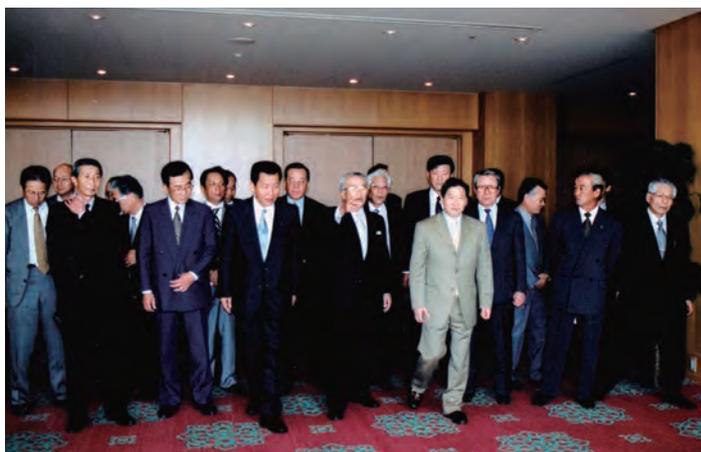
事務局 その他の活動はいかがでしょう？



忍田 ライバルである同業者が一緒になってことを進めようとするには、相互理解が最重要。福利厚生事業には力を入れてますよ。

年間の行事としては、新年会、納涼会、ボウリング大会、研修ゴルフ会かな。うちは八尋福祉厚生委員がしっかり束ねてくれてますから。毎回参加者が多くてどれも楽しい会です。

事務局 研修ゴルフ会は、他県から赴任されたメーカーさまが仰天するほど、盛大だとお聞きしました。



福岡電設資材卸業協同組合 創立 10 周年記念式典にて

忍田 男ばかりで浴衣になってね。男子校の修学旅行みたいなのかな。

ボウリング大会も盛り上がるね。若い社員が中心となって全力でプレイした後は懇親会。組合ならではの交流ができると喜んでもらってます。

事務局 ところで、福岡・佐賀・長崎…と、各県に支部があるわけですが、福岡県には、福岡支部と北九州支部の2つの支部が存在するのはどういった経緯でしょうか？

忍田 福岡単組が法人化したのは、昭和 58(1983)年、一方、北九州支部は昭和 49(1974)年から任意組合としてすでに活動をしていました。当時は北九州市のほうが人口も多く、八幡製鐵所を核に九州の経済の中心的都市だったから。しっかりした事務局もいて、活発に事業を推進されていました。

平成 24(2012)年に九州の各県単組を統合して、九州電設資材卸業協同組合を設立する時、福岡と北九州を統合して福岡支部とする案も出たけど、組合事業を推進していくうえで地理的な問題は大きいと判断しました。組合員である前にみな経営者ですからね。組合の活動が負担になるようでは元も子もない。正しい決断だったと思ってますよ。両支部とも単組のときに比べて活動の質も量も落とすことなく運営しているのだから。

まあ、お互いのプライドもありましたけど。

事務局 そうでしたか。疑問に思っていたらっしゃる方も多かったかと思います。確かに北九州支部は組合員 11 社、うち北九州に本社を置く企業が 9 社と福岡に次ぐ規模です。渉外活動もさかんで工事組合さまとの交流も深いようです。

さて、ここまで支部の歴史・活動についてお話をお伺いしてまいりましたが、支部の今後についてはどのようにお考えでしょうか？

忍田 私は現在、当組合の上部組織である全日本電設資材卸業協同組合連合会の副会長を務めています。執行部として関係省庁や団体・企業のトップと接する機会も多いですが、全くの異業界や海外からの進出、販売形態の進化、働き方・仕事に対する考え方の変化等、驚嘆することばかりで、これまでの電材業界の認識の甘さを痛感しています。

自分の役割は広く見聞きしたことを組合員に伝え、共に考えること。同じ価値観でお互いを尊重しあい、事業への研鑽を積み重ねて行ける場にしたいです。

事務局 忍田支部長の強力なリーダーシップのもと、実現できる取り組みは多そうですね。

本日は貴重なお時間をありがとうございました。

Best・Shot - 今日一枚 -

ある会で、忍田 楯蔵 初代理事長とご一緒になりました。スッと隣にお掛けになるや、「ランプメンテとは、君の会社はなかなかおもしろいことをやとるな。ところでなぜ組合に入っとらん？ 明日事務局を行かせる。」の一言で翌日入会。今に至ります。と語る八尋福祉厚生委員長（写真手前）。今年、忍田理事長と一緒に古希をお迎えになった秋吉社長（写真左）。お三方が集まると、実務者時代のお顔に戻ります。写真右は中西副支部長。唄がとってもお上手なんですよ。



福岡支部 組合員（本店加入）

株式会社カンサイ	大建電材株式会社
株式会社キューテック	平岡電気株式会社
共立電材株式会社	福岡電材株式会社
株式会社ケイ・エス・デー	株式会社丸音音春商店
三共電気株式会社	株式会社ミツヤマ電気
株式会社昭和電光	ユゲデンキ株式会社

准組合員（支店加入）

因幡電機産業株式会社 電材西日本事業部 九州営業部
九州昭和株式会社 福岡支店
興陽電機株式会社 福岡営業部
東芝電材マーケティング株式会社 九州支社
日本電設資材株式会社 福岡支店
米良電機産業株式会社 福岡支店

Pickup Person

株式会社ミツヤマ電気
代表取締役 光山 敬一さま

昨年12月10日（日）開催のホノルルマラソンに参加してきました！フルマラソンは7回目のチャレンジ、ホノルルマラソンは2回目の参加になります。

気候も良く、ベストタイムを目指し走った結果、タイムは自己ベストの4時間58分でした！！

また来年も参加したいと思います。



支部で一番お若い光山社長。完走者の平均タイムを大幅に上回る成績、素晴らしいですね。おめでとうございます。お写真は午前5時のスタート前のように、周りは真っ暗です。美しい風景、沿道の賑やかな声援、ハワイの軽い空気に、リピーターが多いのも納得。来年もがんばってください！